

科目名	英文講読1	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	瀬戸 裕之		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	(1-3年)X-21-A-2-320273, (4年)X-21-B-2-320273		国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること		
授業の目的	<p>本授業では、「冷戦と東南アジア」をテーマに英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、テーマに関する内容について学びます。冷戦は、1940年代後半から1990年まで継続した、アメリカを中心とする西側陣営とソ連を中心とする東側陣営の間の対立構造ですが、東南アジアでは、インドシナ戦争、ベトナム戦争、カンボジア紛争など大規模な戦争が行われ、多くの犠牲者が出ました。その一方で、東南アジア諸国では、世界レベルの対立構造を、各国の国内での政治的な意図のために利用する場面もありました。東南アジアにとって冷戦とはどのようなものだったのか、論文から読み解いていきたいと思えます。事前に教員が各学生に翻訳を担当する部分を割り当てます。学生は、毎回、それによって訳文を準備して授業で報告し、それに対して教員がコメントし、解説を行います。</p>				
学修到達目標	<p>英語で学術的な文章を読み、本文の内容や筆者の主張に従って丁寧に日本語に翻訳することで、英文読解の基礎能力を身につけるとともに、本文の内容や筆者の主張を正しく理解する意識を持ち、さらにアジアの国際関係に関する基礎知識を身につけることができる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	導入ーテーマの説明と授業の進め方について
第2回	テキストの読解 1
第3回	テキストの読解 2

第4回	テキストの読解 3
第5回	テキストの読解 4
第6回	テキストの読解 5
第7回	テキストの読解 6
第8回	テキストの読解 7
第9回	テキストの読解 8
第10回	テキストの読解 9
第11回	テキストの読解 10
第12回	テキストの読解 11
第13回	テキストの読解 12

第14回	テキストの読解 13
第15回	まとめ
第16回	毎回の授業内での発表で評価するので第16回は開講しません。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。事前にテキストを読み、学生が発表を担当する部分を翻訳しておく。
【復習】時間・内容	2時間。授業で学習した要点について確認し、理解する。

成績評価	
評価基準・方法	毎回の授業において発表した訳文（70%）、授業参加（30%）で評価する。
フィードバック方法	各回の学生の発表に対してコメントし、内容について解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート/プレゼンテーション
教科書/参考書	「冷戦と東南アジア」に関する英文テキスト（論文）を読みます。 授業の第1回目に、使用する論文をテキストとして配布します。
受講上の留意点等	本授業は、必修科目ではありませんが、英語で学術論文を読みたい学生は、受講してください。 受講する学生は、毎回、事前に割り当てた担当部分の英文の日本語訳を準備し、授業で順番に発表します。教員がコメントする際に、冷戦や東南アジアの背景・文脈について解説しますので、東南アジアに詳しくない学生でも受講できます。
JABEE	